

## 福岡・小倉城跡

こくらじょう

1 所在地 福岡県北九州市小倉北区城内

2 調査期間 一 一九九八年（平10）九月～一〇〇一年一月  
二 一九九九年四月～七月

3 発掘機関 財北九州市芸術文化振興財団埋蔵文化財調査室

4 調査担当者 山手誠治・中村利至久・川上秀秋・梅崎恵司

5 遺跡の種類 城郭跡・軍事施設跡

6 遺跡の年代 繩文時代～現代

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

小倉城は、小倉に造られた中世後半から近世までの城郭である。

紫川と板櫃川に挟まれた河

口に位置し、北流する紫川

の西岸の木町台地に西郭が、

東岸に東郭が築かれている。

広さは、東西約一km南北約

一・五kmである。慶長七年（一六〇二）以降の城主は

細川氏、寛永九年（一六三

二）以降は小笠原氏である。



（小倉）

小倉城跡は、一〇〇一〇年の間に七万m<sup>2</sup>をこえる面積が調査されている。今回の調査地は、本丸の南側約二五〇mの所にある代米御蔵跡と御普請所跡である。代米御蔵は五〇m四方、御普請所は南北約一〇〇mの規模で、紫川を埋めた整地層から成っている。検出した遺構は門・米蔵・排水溝・井戸・土壘・石垣・堀・櫓などである。

木簡は、代米御蔵と御普請所の整地層及び堀から出土した。整地層は一六〇二年から一六二〇年代まで、堀は一八七五年以降のものである。時期は文献を基礎に絵図なども参考にしながら、出土した肥前陶磁器の年代幅により決定した。編年は大橋康二氏による。

他の文字資料には、石垣の石に書かれた墨書や刻印などがあり、そのなかには、元村上水軍の一門の「村上八郎左衛門」の名の墨書が含まれていた。

### 8 木簡の釈文・内容

#### 一 代米御蔵跡

##### 一区堀跡

（1） 「小倉歩兵第十四聯隊第十二中隊行キ  
○陸軍歩兵大尉三友良矩殿

（2） 「大分県下毛郡□□□村  
○陸軍歩兵□□□吉永□□郎

181×(55)×10 081

(2) • 「返納部隊  
○歩兵第十団聯隊  
第五中隊御中」  
• 「○ 矢羽田伊作」  
183×64×8 011

(3) • 「小倉歩兵第十四聯隊第一大隊  
○本部行  
○」  
183×60×6 011

(4) • 「小倉歩兵第十四聯隊第十一中隊行キ  
○陸軍歩兵大尉富田清秋殿」  
• 「○ 矢羽田伊作」  
183×60×6 011

(5) • 「○ 步兵第十四聯隊  
○御中」  
181×62×12 011

(6) • 「○ 大分県日田郡  
○老風村役場」  
180×62×8 011

(7) • 「小倉歩兵第十四聯隊補充大隊  
○御中行キ」  
182×59×7 011

(8) • 「○ 陸軍歩兵□□小倉町一殿  
○」  
180×62×12 011

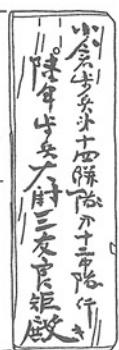
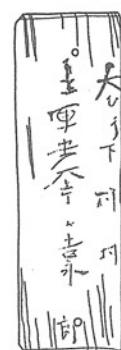
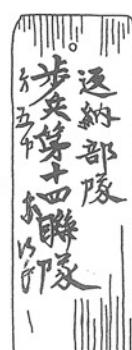
(9) • 「陸軍歩兵□□  
「」ノ炊」(焼印)」  
215×113×8 011

(10) • 「月落□□ 露  
月落□□ 脣旭□□」  
258×44×5 011

(11) • 「人卅貴□□」  
「大日本せん をいわいの  
□□□□」  
270×(32)×2 081

(12) 「上白五斗  
124×43×5 011

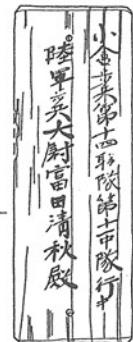
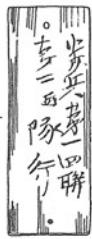
11区間脇北側石垣整地層十層  
(115)×24×5 019



—(3)

—(2)

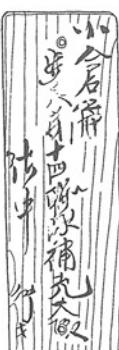
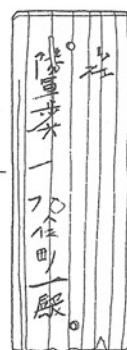
—(1)



—(6)

—(5)

—(4)

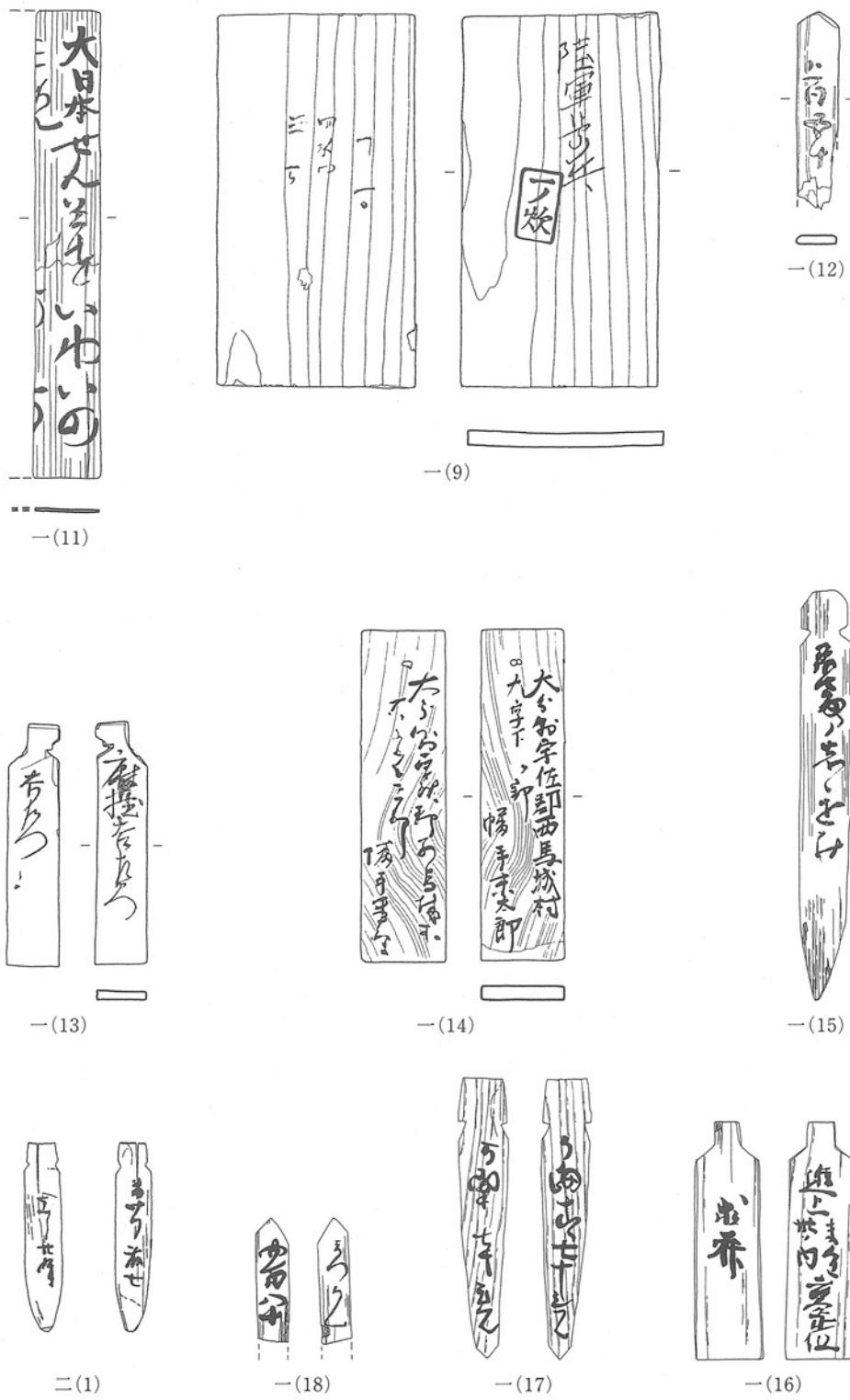


—(10)

—(8)

—(7)

2003年出土の木簡



(13) 「▽麻柱吉左エ門」

・「▽吉左エ門」

141×29.5×5.5 032

(18) 「ミツカニ

・「四百八十

(41)×15×4 019

II区埋跡

(14) 「大分県宇佐郡西馬城村  
○大字下□部  
幡手末太郎」

幡手末太郎

整地層下地山層  
二 御普請所跡

191×47.5×8.5 011

(1) 「▽藤四郎藤七」

・「▽十一月廿九日」

105×20×3 033

III区西北藏整地層下層

(15) 「▽若やまノシ、をけ」

237×30×6 033

なお、すべての糸文は北九州市立自然史・歴史博物館の永尾止剛  
氏による。

9 関係文献

(16) 「▽進上まくわ宝泰院」

146×38×7 032

財北九州市芸術文化振興財団埋蔵文化財調査室『小倉城御普請所  
跡』(財北九州市埋蔵文化財調査報告書一五八)(11001年)

(17) 「▽かます七十れん」  
・「▽かます七十れん」

161×28×12 033

同『小倉城代米御藏跡II』(財北九州市埋蔵文化財調査報告書一七一、  
11001年)

II区北藏下第十一メルハハ

同『小倉城代米御藏跡III』(財北九州市埋蔵文化財調査報告書一九三、  
11001年)